

# お赤飯アンケート分析

(2014年版)



1. 調査実施概要	.....Page2
2. 「お赤飯」の嗜好性	.....Page3-4
3. 「お赤飯」を食べる頻度	.....Page5
4. 「お赤飯」の入手方法	.....Page6
5. 「お赤飯」に求めるもの	.....Page7
6. 「お赤飯」の食事機会	.....Page8
7. 「お赤飯」の食事機会の変化	.....Page9
8. 「お赤飯」の食卓	.....Page10
9. ハレの日のメニュー(献立)	.....Page11
10. 「お赤飯」のキーワード	.....Page12
11. 「お赤飯の日」の認知度	.....Page13

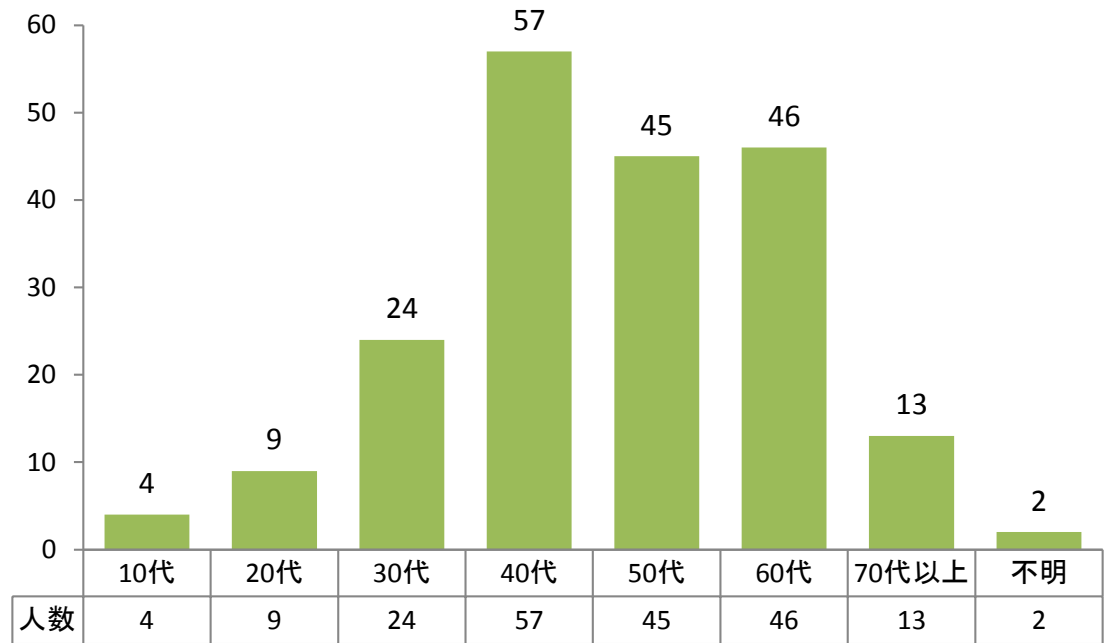
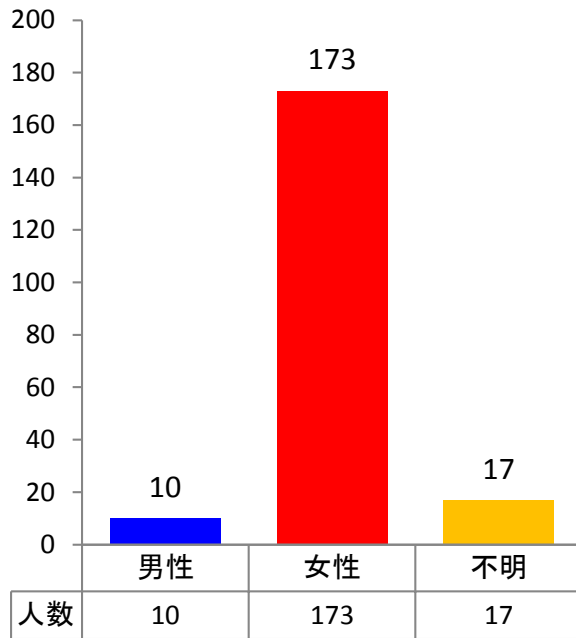
# 1. 調査実施概要

■調査方法 : 展示会におけるアンケート形式

■調査期間 : 2014年4月24日(木)~26日(土)

■モニター条件 : 通販商品プレゼント対象者

■有効回収数 : 200人



# 2-1. 「お赤飯」の嗜好性

## ■「お赤飯」は好きですか？

「お赤飯」が『好き』『どちらかと言えば好き』と答えた人は、全体の9割を超えました。  
⇒その理由として、赤飯特有の「もちもち感」を理由にあげる人が多い傾向にありました。

性別

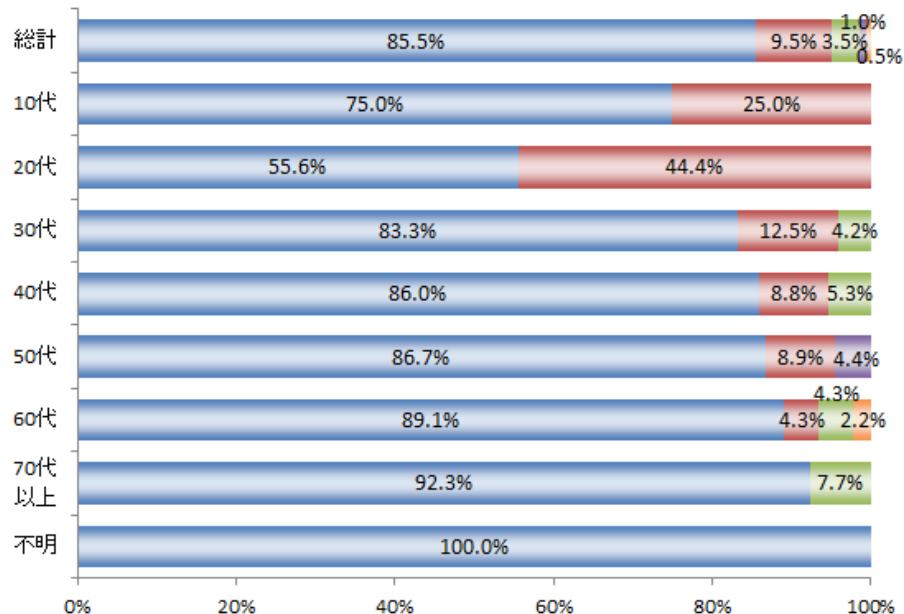
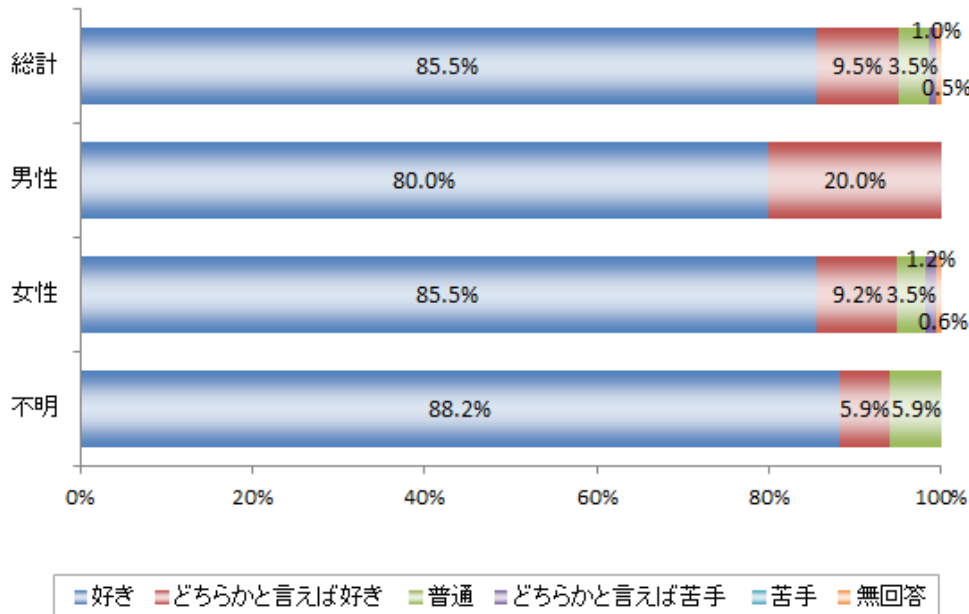
男性よりも女性の方が「お赤飯」を好む傾向にあります。

年代別

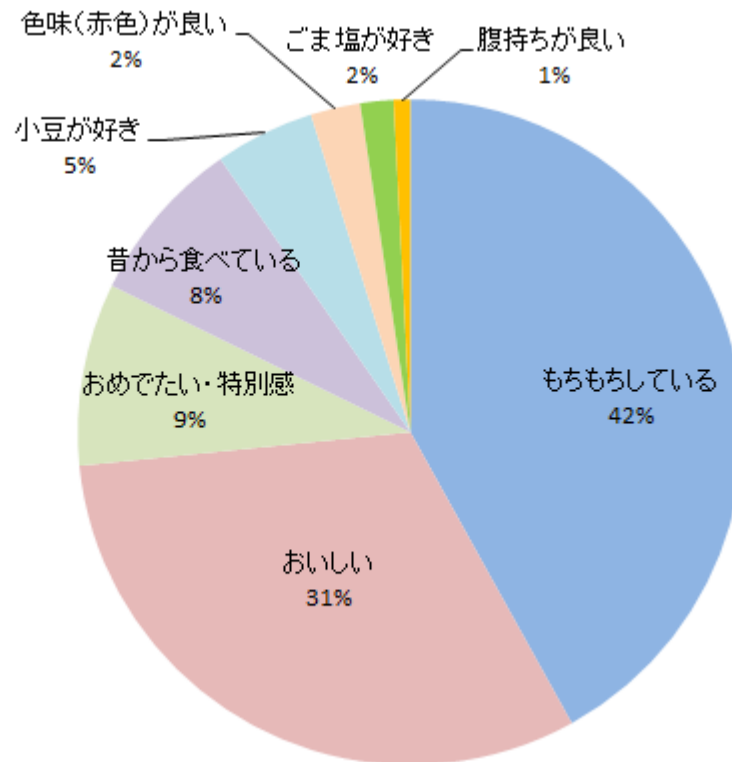
年齢層が上がるほど「お赤飯」を好む人の割合が高い傾向にあります。  
⇒30代以上になると、8割以上の方が『お赤飯が好き』と答えています。

【性別】

【年代別】



### ■お赤飯が『好き』な理由



お赤飯が『好き』な理由として、『もちもちしている』と食感を答えた人は、全体の4割を超えました。次いで、『おいしい』と食味を答えた人が3割を占めています。また、お赤飯に対して『おめでたい・特別感』というイメージを持っている生活者も多く、『昔から食べている』慣れ親しんだ味であることも理由に挙げられています。

# 3. 「お赤飯」を食べる頻度

■「お赤飯」をどれくらいの頻度で食べますか？

「お赤飯」を食べる頻度は、『2～3ヶ月に1回』が一番多い結果となりました。  
⇒イベント事・季節事に1回食べる傾向にあると考えられます。

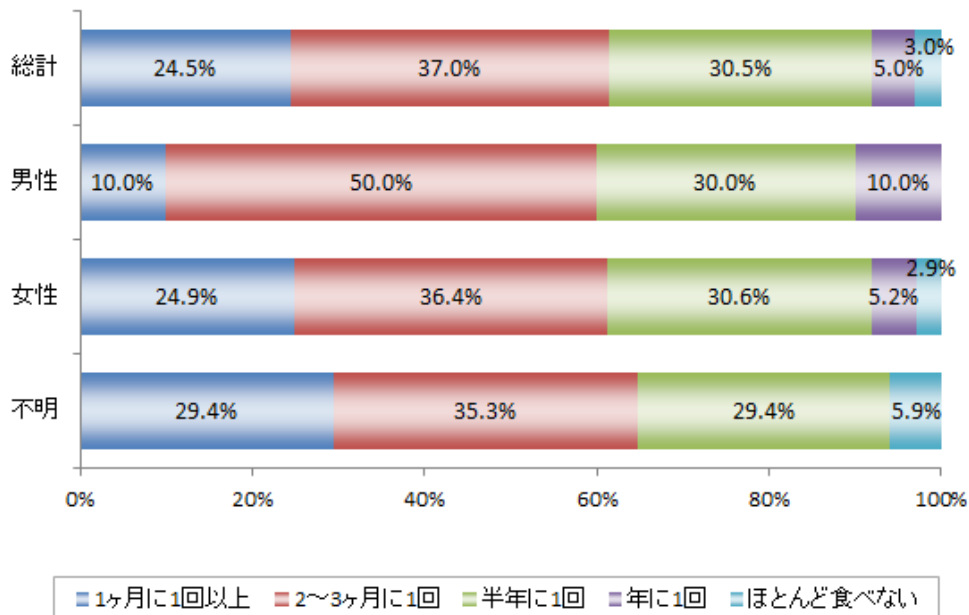
性別

男性、女性ともに6割以上の方が2～3ヶ月に1回以上は「お赤飯」を食べていることが分かりました。

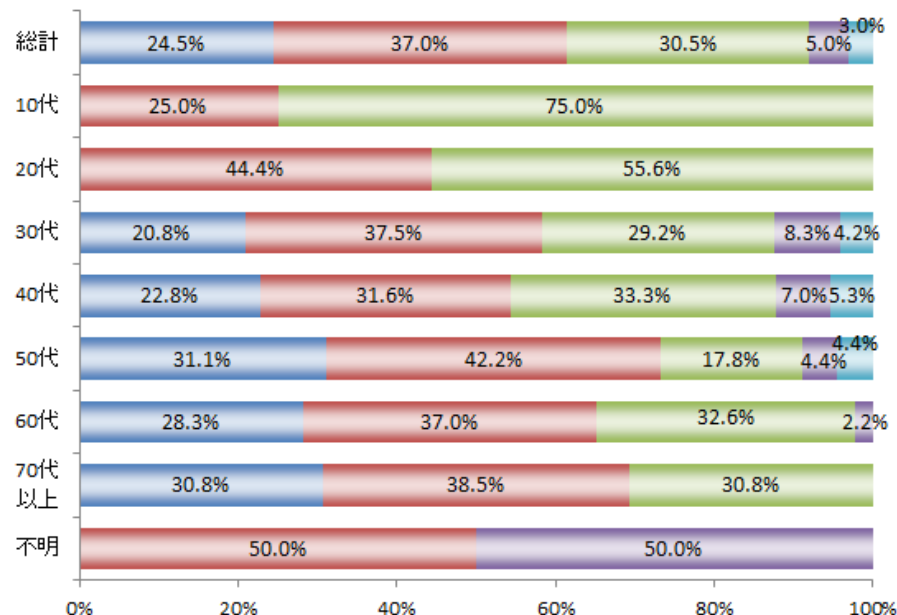
年代別

10代・20代に比べ、30代以上の方が「お赤飯」を食べる頻度が高い傾向にあります。

【性別】



【年代別】



# 4. 「お赤飯」の入手方法

■「お赤飯」は、どのように入手しますか？(複数回答)

「お赤飯」の入手方法は、1位『スーパー、コンビニで買う』、2位『自分で作る』という結果になりました。

性別

女性よりも男性の方が『スーパー、コンビニで買う』傾向にあります。

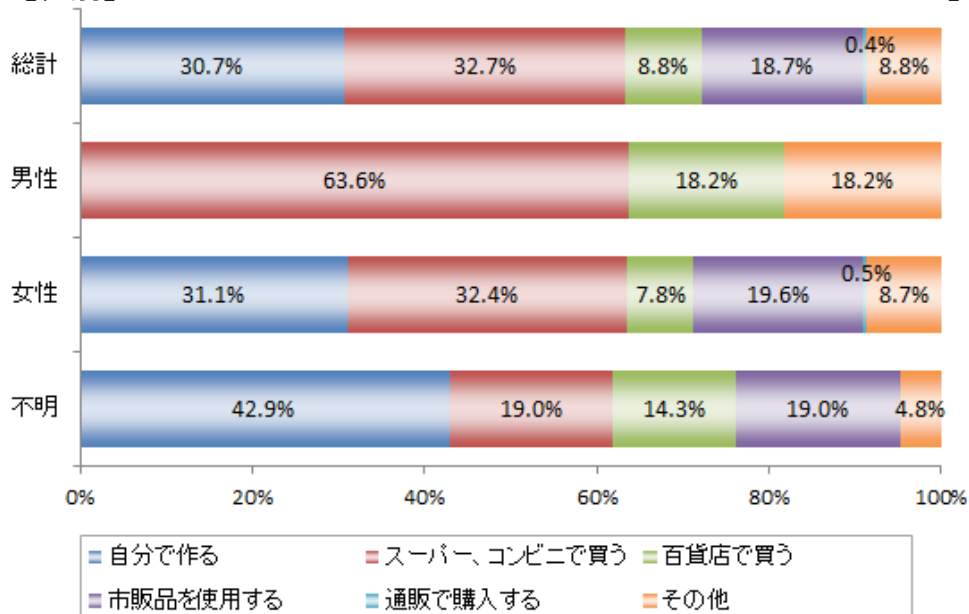
年代別

年齢層が上がるほど『自分で作る』傾向にあります。一方、70代以上になると、調理に手間がかかるため、『スーパー、コンビニで買う』傾向が高くなります。10代・20代は『スーパー、コンビニで買う』傾向が高く、コンビニで赤飯おにぎりを買っていると推測できます。

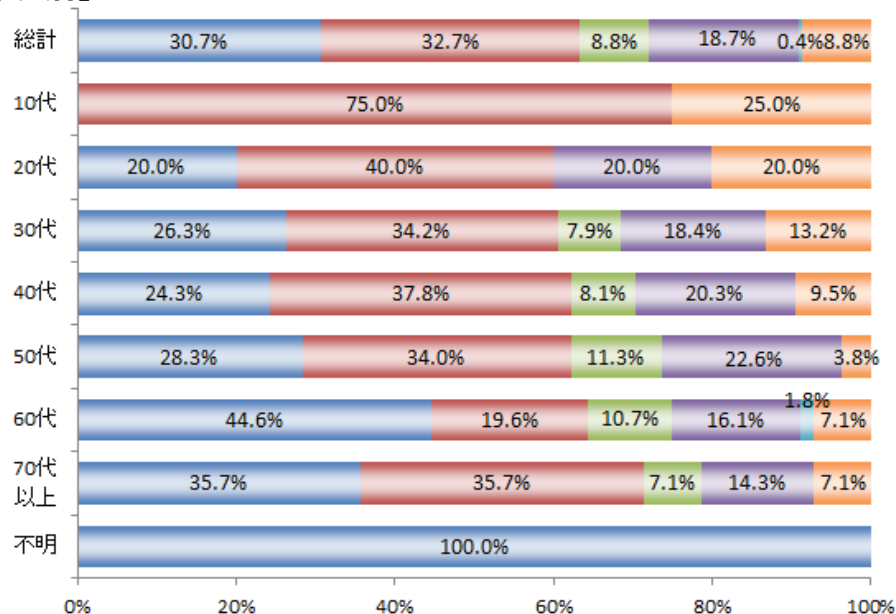
その他

『母親』が作るという結果が高く、「お赤飯」は『おふくろの味』とも言えます。

【性別】



【年代別】



# 5. 「お赤飯」に求めるもの

## ■「お赤飯」に求めるものは何ですか？（複数回答）

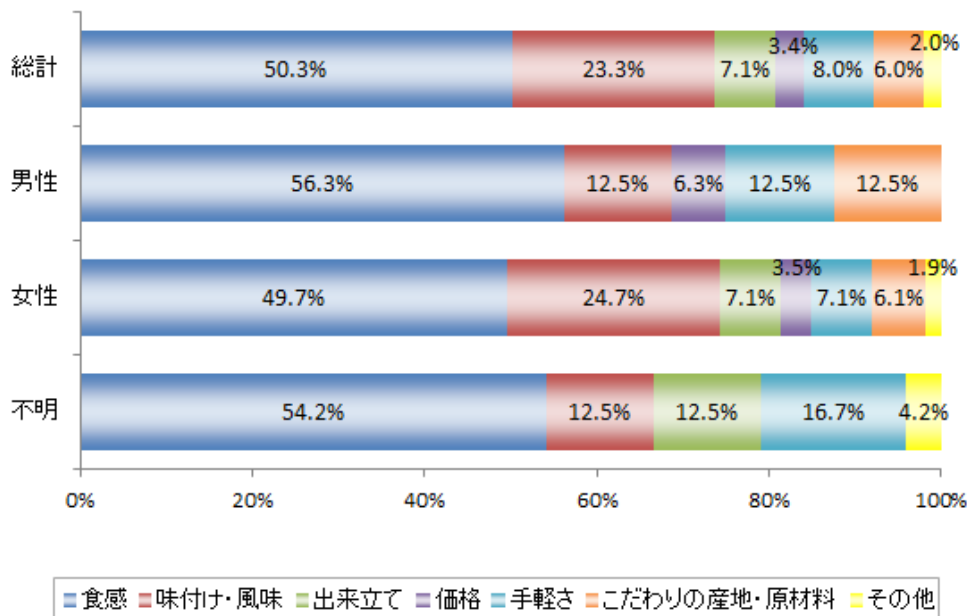
消費者は「お赤飯・おこわ」に対して『食感(もちもち感)』『味付け・風味』を重視し、『価格』『原料』に対するこだわりを上回る傾向にあります。

**性別** 男性、女性ともに『食感(もちもち感)』を求める傾向にあります。

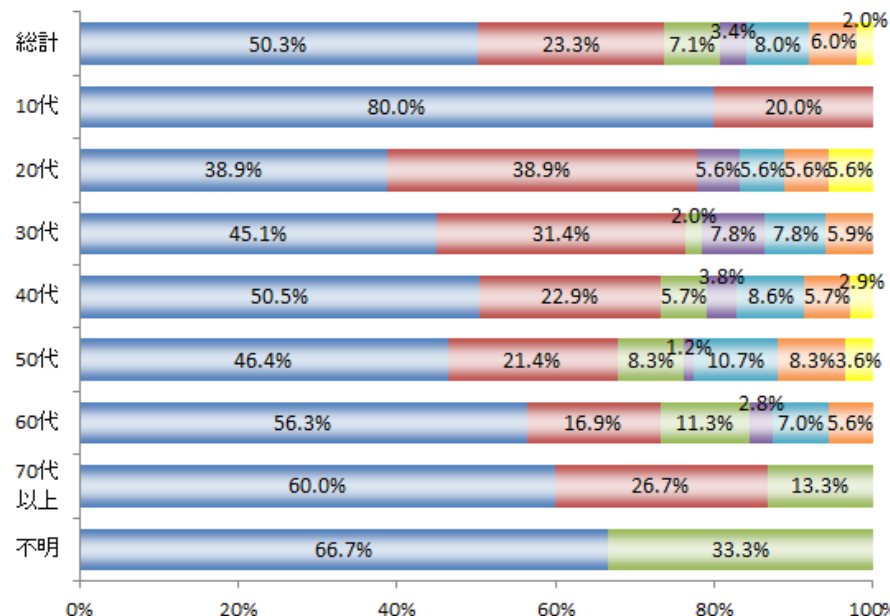
**年代別** 『食感』に対するこだわりは年齢層が高いほど求める傾向にあり、年齢層が低いほど『味付け・風味』にこだわる傾向にあります。20～60代においては、『手軽さ』を求める傾向も見られます。

**その他** 『赤飯の色』や『小豆』という答えが多く見られました。

【性別】



【年代別】



# 6. 「お赤飯」の食事機会

## ■「お赤飯」はどんな時に食べますか？(複数回答)

『誕生日』『入学式・卒業式』などお祝い・イベントの時に良く食べられる傾向にありました。次いで、『普段の食事として』食べられる傾向にあり、「お赤飯」の人気が高いことが伺えます。

### 性別

男性、女性ともに『記念日・誕生日・お祝いの時に』食べる傾向が高い結果となりました。

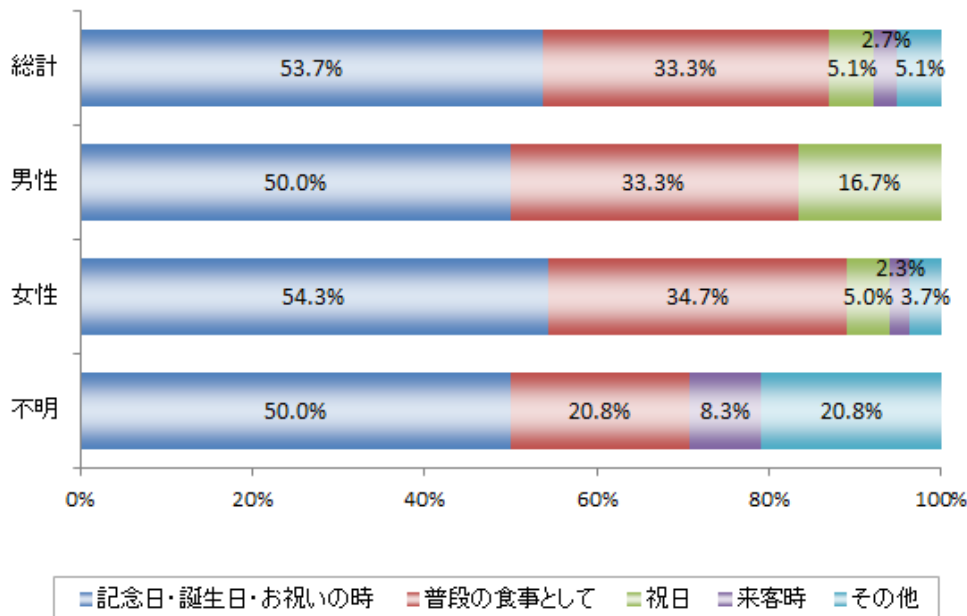
### 年代別

特に20代～60代は『記念日・誕生日・お祝いの時に』食べる機会が多く、子供や孫の成長に合わせた節目に食べていると考えられます。

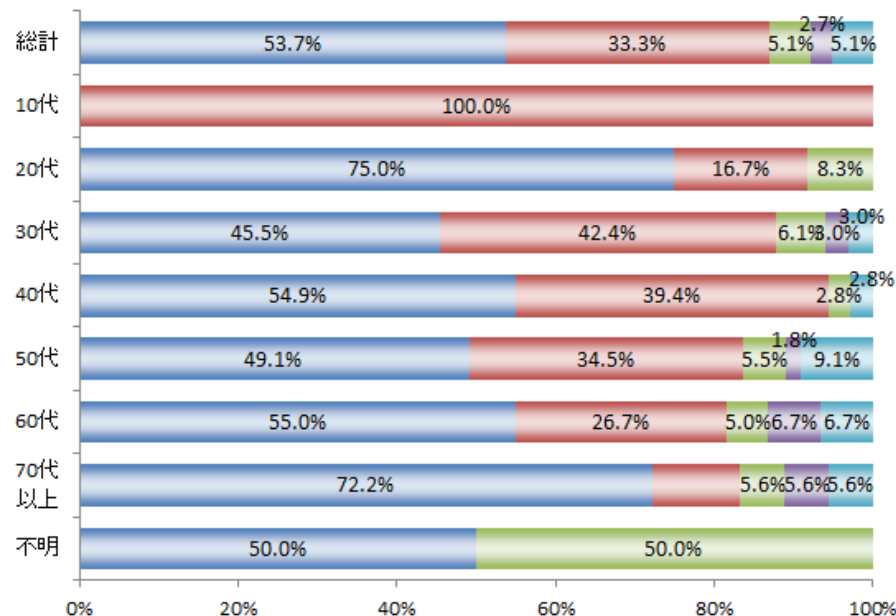
### その他

『コンビニおにぎり』という答えが多く、普段の食事として「お赤飯」を食べていると考えられます。

【性別】



【年代別】





# 7. 「お赤飯」の食事機会の変化

■2～3年前と比較して「お赤飯」(おにぎり含む)を食べる機会は増えましたか？

全体的に「お赤飯」の食事機会は2～3年前と比較して『変わらない』人の割合が高く、また、『減った』よりも『増えた』割合の方が高い結果となりました。

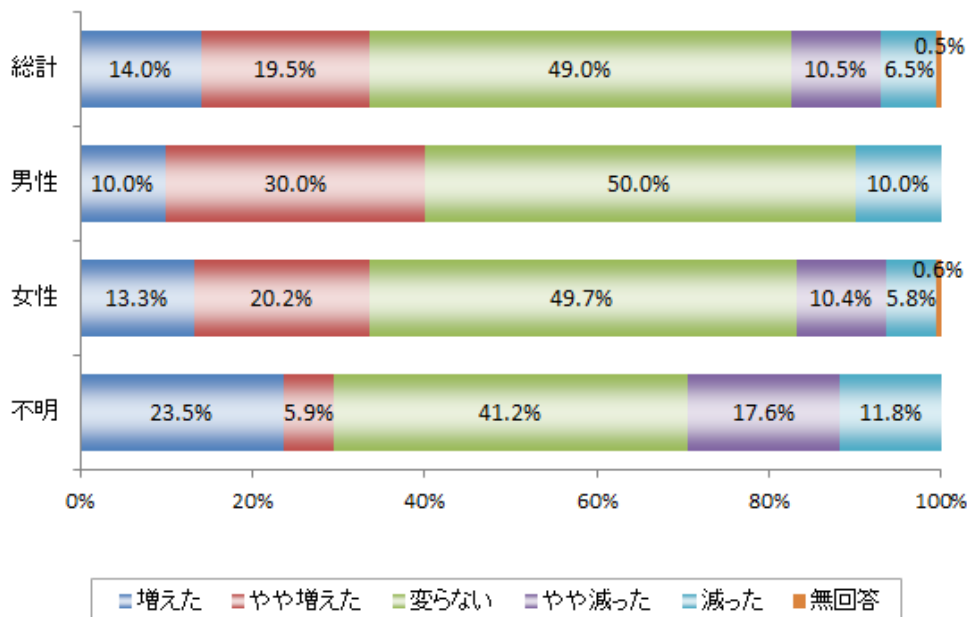
増えた理由

『子供や孫などのお祝いごとの機会が増えた』『コンビニおにぎりの購入』の意見が多く見られました。

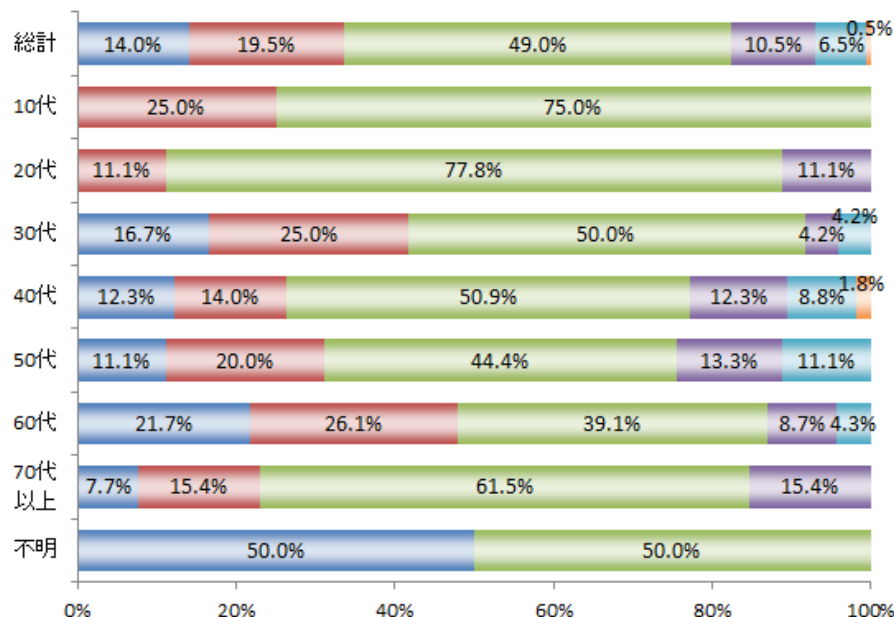
減った理由

「親元を離れた」「子どもの成長により、お祝いごとが無くなった」などの環境の変化が理由であることが分かりました。

【性別】



【年代別】



# 8. 「お赤飯」の食卓

## ■お赤飯と一緒に何を食べたいですか？(複数回答)

『みそ汁やお吸い物などの汁物』『煮物』『漬物』などの和風でベーシックなものが好まれる傾向にあります。

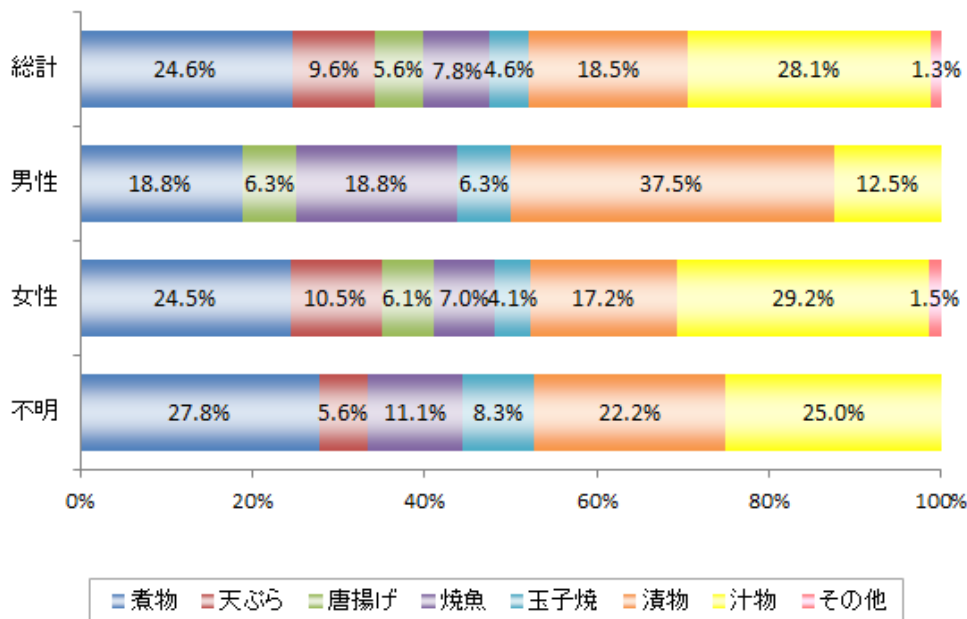
**性別**

女性は『みそ汁やお吸い物などの汁物』『煮物』を好む傾向、男性は『漬物』を好む傾向にあります。

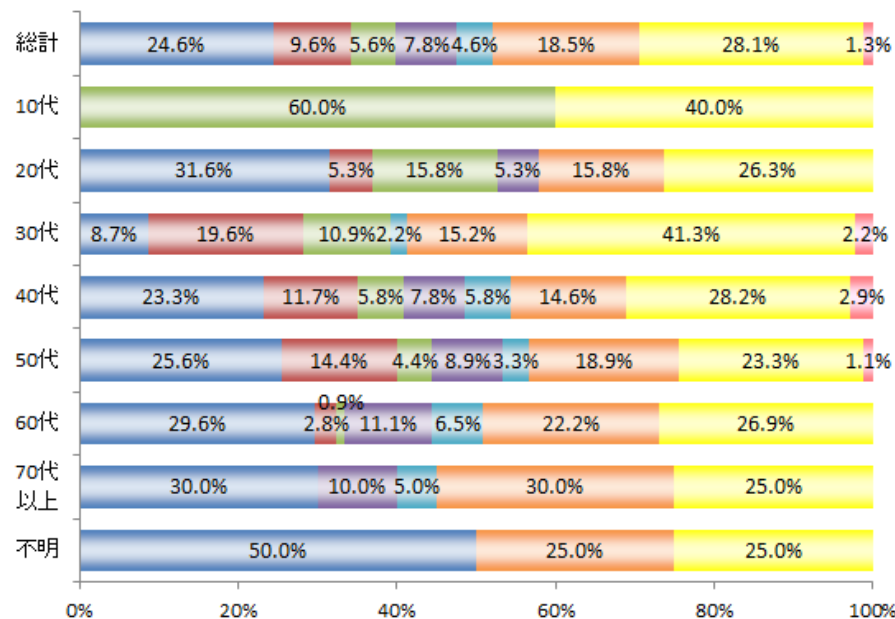
**年代別**

年齢層が上がるほど『煮物』『漬物』と和風でベーシックなものを好む傾向、年齢層が下がるほど『天ぷら』『唐揚げ』と揚げ物を好む傾向にあります。

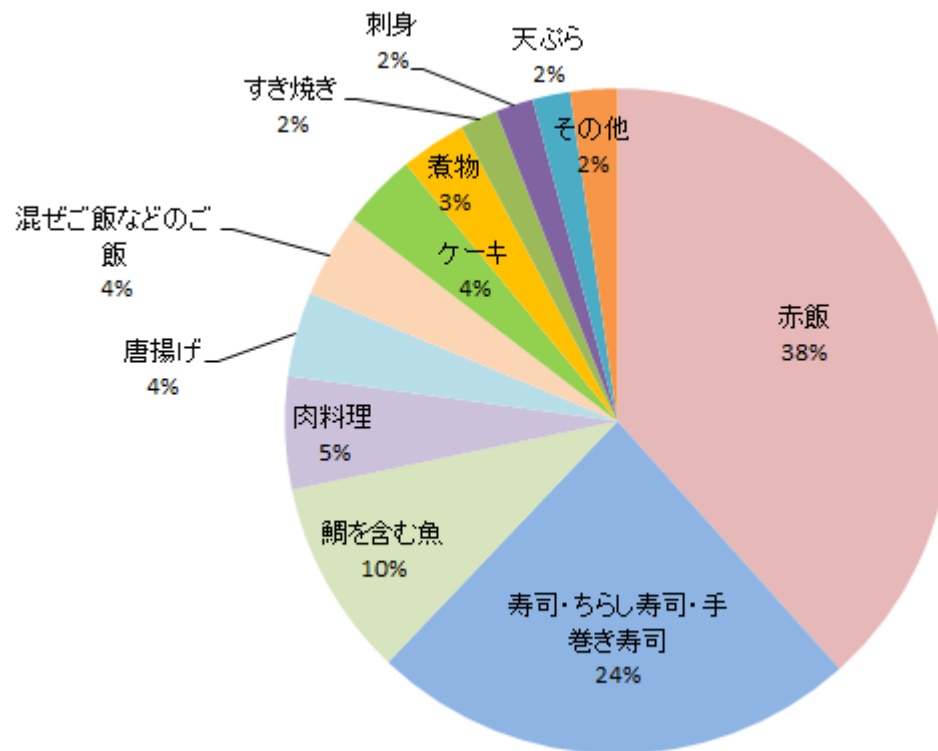
【性別】



【年代別】



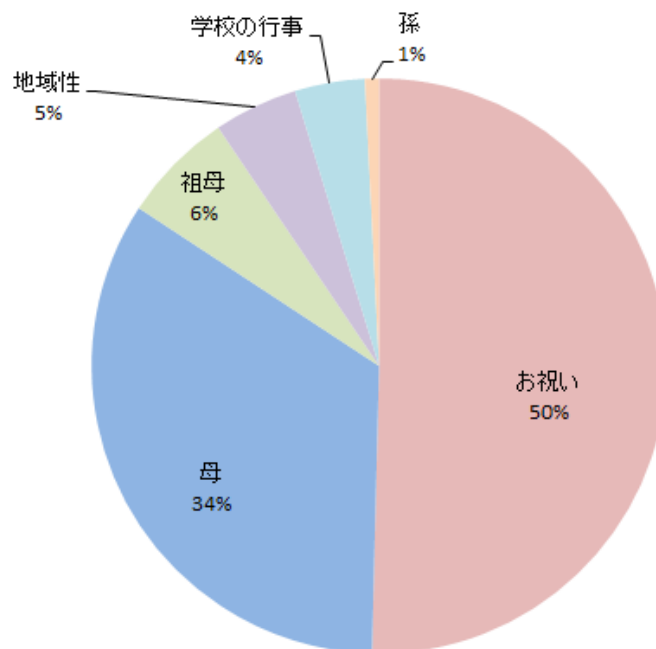
■ハレの日のメニュー(献立)と言えば、何を思い浮かべますか？(自由回答)



ハレの日のメニュー(献立)は、『赤飯』と答える人が4割近くを占める結果となりました。次いで、『寿司・ちらし寿司・手巻き寿司』という結果になりました。

⇒「赤飯」はお祝いごとなど特別な日に食べるメニューであることが伺えます。

## ■お赤飯に関する思い出(自由回答)



「お赤飯」に関する思い出は、1位『お祝い』、2位『母』という結果になりました。

●どの世代にも共通しているのが誕生日・入学式などの『お祝い』『母親の手作り』

●30代・40代に多かった意見が『お祝い』

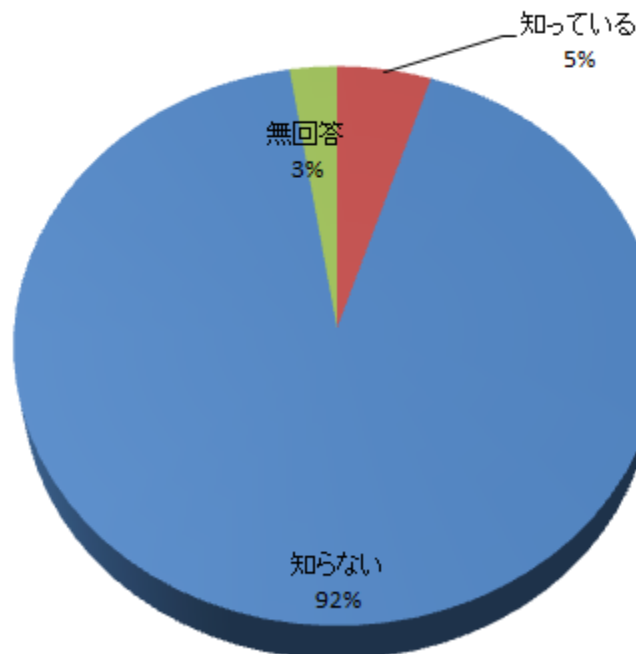
⇒誕生日・成人式など子どもの成長に合わせたお祝い、ハレの日

●共通するキーワードは、『子供の頃の思い出』

⇒親世代である30代以上に「お赤飯」を作ってもらう事・食してもらう事が、今後のお赤飯の消費拡大につながると考えられます。

# 11. 「お赤飯の日」の認知度

■11月23日は「お赤飯の日」ですが、知っていますか？



「お赤飯の日」の認知度は、5%と認知度がまだまだ低いことが分かりました。

●「お赤飯の日」を知っている人は、BtoC展示会『ホビークッキングフェア』で認知することが多い結果となりました。直接、消費者にPRできる貴重な機会になっていることが分かりました。

●11月23日の「お赤飯」需要を拡大するため、消費者が「お赤飯」を食べる動機づけを喚起する必要性があります。